

学校図書館支援センターだより No.12

名取市図書館 学校図書館支援センター ☎382-5437 FAX382-5706

◆「図書館総合展フォーラム 2016in 仙台」で、学校図書館に関する発表がありました！

3月5日（土）、東北大学川内キャンパスにおいて、「図書館総合展フォーラム 2016in 仙台」が開催されました。今回のテーマは「一歩先に踏み出す東北の図書館—教育が変わり図書館が変わる」。フォーラムは3部構成で、第2部の「学校図書館は教育の変化にどう対応してゆくか」の中では、仙台市立西山小学校の志村睦夫校長先生（県連合小学校教育研究会図書館部会長・県学校図書館協議会会長）が講演されました。タイトルは「宮城の学校図書館を変える」。自校の事例を紹介されながら、学校図書館の重要性をお話されました。下記は、予稿集に掲載された文章です。



【講演「宮城の学校図書館を変える」】

志村睦夫（仙台市立西山小学校 校長）

学校図書館の充実には図書館資料・人材双方の充実が必要です。そのために、この20年間で様々な措置等が講じられ、その発展・充実に向けた取組が行われてきました。平成5年に公立義務教育諸学校における学校図書館の図書に関する「学校図書館図書標準」を設定したことを始まりに、その達成を目指すために、「学校図書館図書整備5か年計画」が開始されました。また、学校図書館の人的体制の整備等に関しては、平成9年に司書教諭が法制化され、平成26年には学校司書の法制化が実現しました。このような方策を講じることで、学校図書館がその機能を十分に発揮することが期待されてきました。豊かな心や人間性、教養、創造力等を育む自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能と、児童生徒の自発的・主体的な学習活動を支援する、授業の内容を豊かにしてその理解を深める、児童生徒や教員のニーズに対応する、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成する「学習センター」及び「情報センター」としての機能です。

現在、次期改訂の学習指導要領の検討が始まっています。中央教育審議会の諮問に述べられて話題になっているフレーズが「アクティブ・ラーニング」です。これは「課題の発見と解決に向けて主体的・協同的に学ぶ学習」をいいます。このように主体的・協同的な学習においては、学校図書館の利活用を通して、情報の収集・選択の方法、要約の仕方、レポートや新聞へのまとめ方、発表の仕方といった情報を活用するための技能を育成することが大切です。今後学校図書館は、学校教育の中核としてその機能の高度化がこれまで以上に求められます。

このような高度化に向けた学校図書館の運営は、司書教諭と学校司書の協同が必要です。また、学校図書館の利活用や読書活動の推進を校内へ働きかけるためには、学校図書館の存在意義・利活用意義やその必要性を認識すること、学校図書館の利活用の仕方等について理解を深めることが求められます。学校図書館担当職員だけでなく多くの教職員により、日々の学習指導や読書指導等で利活用されることが学校図書館の活性化につながると考えます。学校図書館に関わる全ての人々が、その教育活動に協働する心構えを持ち、学校図書館の機能を十分に高め、児童生徒の学びを向上させ、『学校図書館法』の目的である、学校の教育課程の展開や児童生徒の健全な教養の育成に寄与することを願います。



平成28年度 4月～2月までの利用状況

1. 団体貸出

小学校（11校）	合計	1,322冊	1校平均	120冊
中学校（6校）	合計	876冊	1校平均	175冊

2. リクエスト

小学校（11校）	合計	181件	1校平均	16件
中学校（6校）	合計	62件	1校平均	12件

3. 見学

6月16日（火）	増田小学校2年生	6月25日（金）	閑上中学校しおさい学級
2月4日（木）	高館小学校2年生		
2月2日（火）、3日（水）、3月8日（火）	愛島小学校2年生		

4. 職場体験

7月2日（木）～3日（金）	第一中学校2年生
10月28日（水）～29日（木）	増田中学校2年生
10月29日（木）～30日（金）	第二中学校2年生



〈3月8日 愛島小学校2年生来館〉



図書館の本棚

名取市図書館にある本です。どうぞご利用ください。



『学校図書館の挑戦と可能性—困ったときには図書館へ2』

神代 浩 中山 美由紀／編著 悠光堂

『困ったときには図書館へ』の第2弾。21世紀社会を生きる子ども達のために、学校図書館はどうあるべきかを考えます。第Ⅰ部は理論編で、学校図書館の現状や課題、今後の方向性などについて学校教育と社会教育の視点から論じています。第Ⅱ部は実践例。全国の学校司書や司書教諭のユニークな事例を集めています。第Ⅲ部は、公共図書館の学校図書館支援事例として4の方が執筆しています。第Ⅱ部、第Ⅲ部あわせて35名の取り組みを紹介。学校図書館に対する熱い思いがひしひしと伝わってくる1冊です。

『司書と先生がつくる学校図書館』

福岡 淳子／著 玉川大学出版部

学校図書館を活用した学習は、すべての子どもに必要な学びの基礎を育みます。また、司書と教師の協働で、系統的な読書指導が可能となります。著者は公立小学校の学校司書としての15年間の経験から、学校司書のもつ多様な活動の可能性を具体的に説明しています。巻末には、読み聞かせリストや学年ごとのお薦め本リストがついています。参考にしてみたいはいかがでしょうか。



平成27年度もまもなく終わります。支援センターだよりも、今年度はこれが最後となりました。1年間、支援センターだよりをお読みいただきありがとうございました。新年度からも、学校図書館に関する様々な情報をたくさん提供していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。